



発行所
福山民報社
福山市霞町
3丁目4番地25号
Tel.922-2815
Eメールアドレス
info@f-jcp.com
ホームページアドレス
http://www.fjcp.com/

平和のための戦争展inふくやま 戦後70年、戦争する国でなく平和を！

戦後70年がたち、悲惨な戦争の記憶が薄れてきています。今、日本がふたたび戦争をする国になってもよいのかどうか問われているとき、戦争の加害、被害のツメ痕や戦時下の生活の様子を写した写真、新聞記事、資料により、戦争と平和を考える機会として取り組まれました。



福山空襲被災地域図

8月1日～3日まで、学びの館ロイズコムで平和のための戦争展が開かれました。

この戦争展で写真、軍服、勲章、沖縄で集団自決に使用されたカミソリ、銃などが説明と共に展示され、戦時中の教科書、新聞報道記事では、戦争遂行のために戦意高揚を図る内容となっていました。

時の政府は、国家総動員法や治安維持法などで、戦争反対などできない状況をつくりだし戦争を推進してきました。

先の第2次世界大戦で、アジアでは2000万人、日本では310万人以上という多くの犠牲者を出しました。

この痛苦の教訓から、戦争の放棄



福山空襲の紙芝居をみる参加者

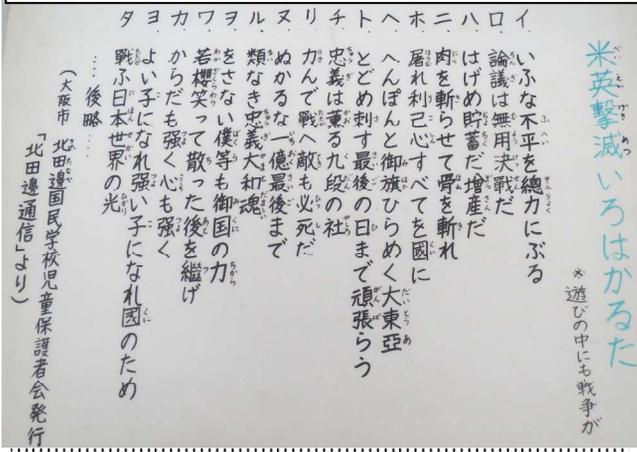
をうたった平和憲法ができました。この戦争展は、3日間で、400名近くの参加者がありました。

戦争法案が審議されている中、どのようにして戦争に突き進んでいったのか、国民の生活や兵士は戦時下に何を強いられたのか、原爆による被害、空襲による被害について写真、資料などを見て、戦争というものは2度と起こしてはならない」「いま、あの戦時中と同じ状況がつくられようとしている」など決意や不安を参加者の方は感じています。

今私たちが何をしなければならぬか、考えさせられる戦争展でした。



子どもから大人まで戦争に動員させるため、新聞、教科書にとどまらず、カルタまでも



子どもから大人まで戦争に動員させるため、新聞、教科書にとどまらず、カルタまでも

道路建設問題で、国交省に申し入れ

3日、福山道路・福山西環状線等を考える瀬戸町住民の会「福山道路等の地権者トラストの会」福山バイパスと区画整理を考える会」の3団体は、国土交通省福山河川国道事務所に対し、申し入れ」と懇談を行いました。

3団体は、福山道路や福山西環状線、福山沼隈道路建設に関わって、瀬戸町山北地区の環境への影響や、道路建設の必要性、今後の対応など10項目の質問要望事項を申し入れ、項目ごとの説明と回答を求めました。

項目の主なものは、

- 「福山道路」自然環境調査の目的と結果の説明を行うこと。
- 瀬戸町地頭分にプレハブを
- 国道2号線瀬戸地区歩道整備事業について、赤坂バイパス東まで歩道の延長を。
- 国道2号線瀬戸町岩足橋交

また、

- 福山道路の建設目的を「朝夕ばかりではなく慢性的な交通渋滞」の解消としているが、常時渋滞という実態はない。24時間交通量だけではなく、時間毎の交通量（台数）を再度回答すること。
- 瀬戸町山北地区地権者住民に、用地買収 対象地の等級及び単価産出票」を宅地、田山林、墓票地など10～14等級までの単価票をしめすこと。等です。
- その他、



差点で、下り線2車線が県道への右折のため渋滞している。沼隈方面への一方通行だけでなく、直進も出来るよう道路の拡幅を。等の要望も届きました。

応対した井町調査設計第2課長らは、要望については9月上旬に文書で回答します」と個別の要望 道路改良、道路の草刈りなど）については、できる限り対応します」などと回答しました。

日本共産党市議団から、村井あけみ、河村ひろ子両市議と事務局員2名が参加しました。